

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年01月14日

計画の名称	高槻市ともに支え合う安全・安心なまちづくり（第3期）（重点計画）（防災・安全）												
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	高槻市												
計画の目標	下水道整備を行うことで、浸水・地震などの自然災害への備えを充実し、安全で安心な暮らしを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,050	A	4,890	B	0	C	160	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	3.16	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R7	中間目標値 R9	最終目標値 R11
1	下水道による浸水対策達成率を52%から54%に増加。 下水道による浸水対策達成率 浸水対策が完了した面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（4,548ha）	52%	53%	54%
2	重要な幹線等の耐震対策実施率を41%から44%に増加。 重要な幹線等の耐震対策実施率 重要な幹線等のうち、耐震化が行われている延長（km） / 重要な幹線等の延長（179km）	41%	43%	44%
3	マンホールトイレの整備率を67%から100%に増加。 マンホールトイレの整備率 マンホールトイレの整備が完了した箇所（箇所） / マンホールトイレの整備を実施すべき箇所（58箇所）	67%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(雨水)	新設	高槻排水区他の浸水対策	雨水管路施設の建設	高槻市						210		策定済
	A07-002	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(合流)	新設	高槻中排水分区 浸水被害軽減対策	雨水幹線の増設	高槻市						2,300		策定済
	A07-003	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	ポンプ場	改築	雨水ポンプ場耐水化事業	雨水ポンプ場の耐水化	高槻市						40		策定済
	A07-004	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(汚水)	改築	下水道総合地震対策事業	管路施設の耐震化(L=6.0km)	高槻市						1,500		策定済
		種別1は他に管きよ(合流)、管きよ(雨水)を含む																	
	A07-005	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	ポンプ場	改築	下水道総合地震対策事業	雨水ポンプ場の耐震補強および増杭	高槻市						80		策定済
	A07-006	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(汚水)	新設	下水道総合地震対策事業	マンホールトイレの建設19箇所	高槻市						260		策定済

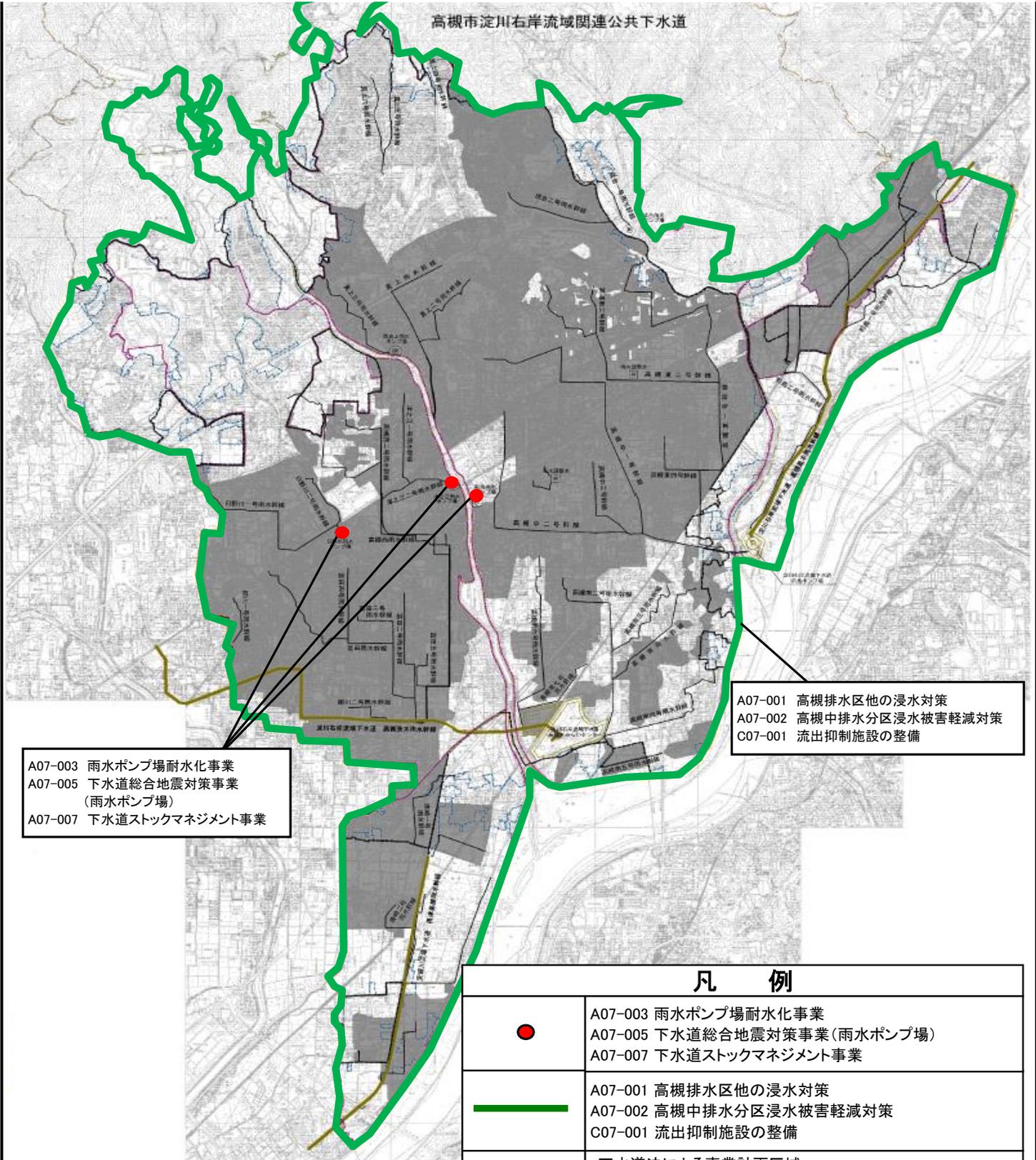
A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-007	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	ポンプ場	改築	下水道ストックマネジメント事業	ポンプ場およびその他機械電気設備の設計、改築工事	高槻市						500		策定済
種別1は他に管きょ(雨水)を含む																			
											小計						4,890		
											合計						4,890		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R07	R08	R09	R10	R11				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	C07-001	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	-	新設	流出抑制施設の整備	流出抑制施設の整備	高槻市						120	-		
		基幹事業（A07-001）、（A07-002）と一体的に実施することにより、浸水被害の軽減を図る																		
	C07-002	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	-	新設	災害用トイレ整備事業	マンホールトイレの上部施設 整備	高槻市						40	-		
		基幹事業（A07-006）と一体的に実施することにより、災害時の避難所におけるトイレの確保が確実となり、被災時の衛生環境の向上を図る																		
											小計						160			
											合計						160			

# 高槻市公共下水道計画図(雨水)重点計画

高槻市淀川右岸流域関連公共下水道



A07-003 雨水ポンプ場耐水化事業  
 A07-005 下水道総合地震対策事業  
 (雨水ポンプ場)  
 A07-007 下水道ストックマネジメント事業

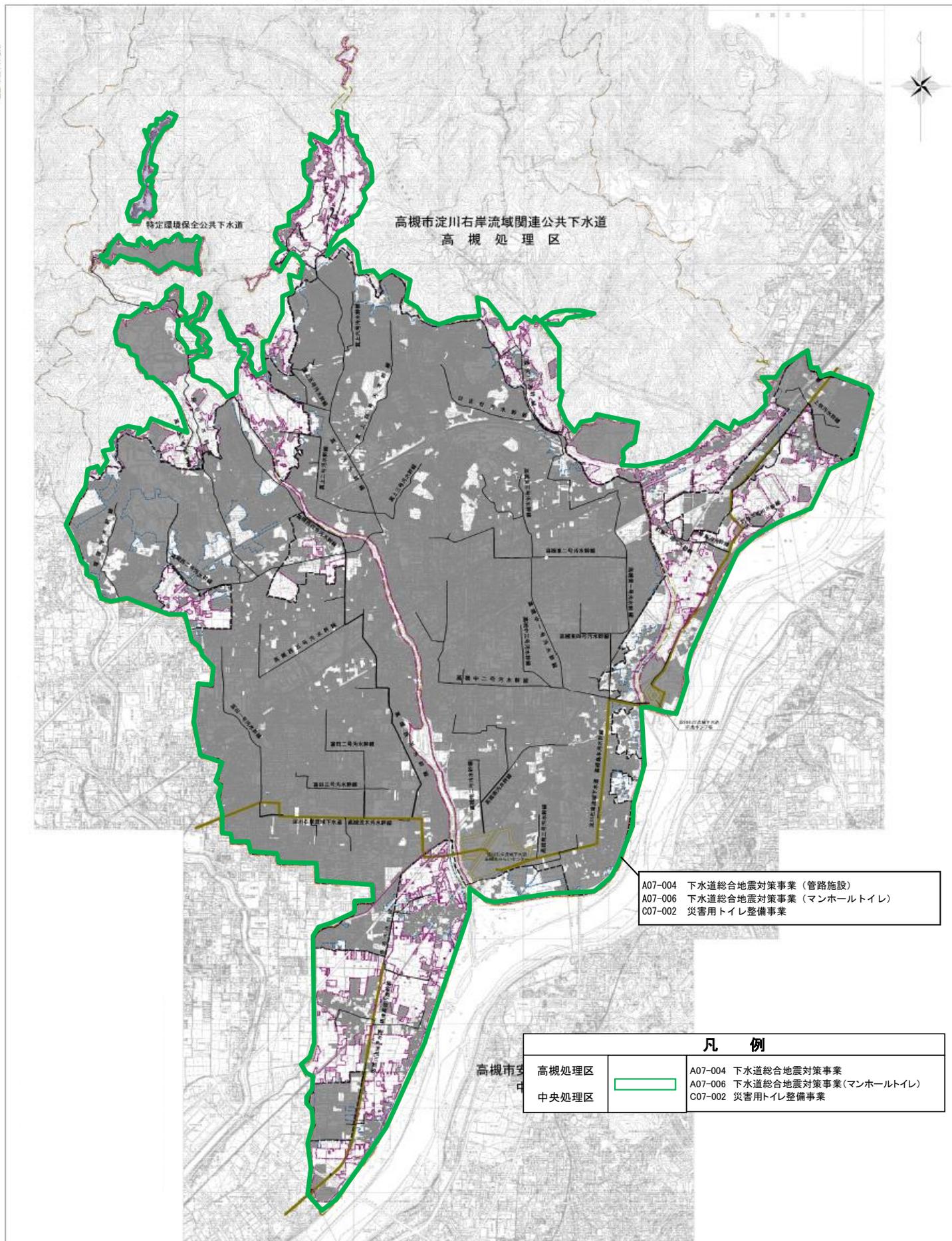
A07-001 高槻排水区他の浸水対策  
 A07-002 高槻中排水分区浸水被害軽減対策  
 C07-001 流出抑制施設の整備

## 凡 例

●	A07-003 雨水ポンプ場耐水化事業 A07-005 下水道総合地震対策事業(雨水ポンプ場) A07-007 下水道ストックマネジメント事業
—	A07-001 高槻排水区他の浸水対策 A07-002 高槻中排水分区浸水被害軽減対策 C07-001 流出抑制施設の整備
—	下水道法による事業計画区域

# 高槻市公共下水道計画図(汚水)重点計画

高槻市公共下水道計画図(汚水)重点計画



高槻市淀川右岸流域関連公共下水道  
高槻処理区

特定環境保全公共下水道

A07-004 下水道総合地震対策事業(管路施設)  
A07-006 下水道総合地震対策事業(マンホールトイレ)  
C07-002 災害用トイレ整備事業

凡例	
高槻処理区	
中央処理区	
A07-004 下水道総合地震対策事業	
A07-006 下水道総合地震対策事業(マンホールトイレ)	
C07-002 災害用トイレ整備事業	

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 高槻市ともに支え合う安全・安心なまちづくり（第3期）（重点計画）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 3) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 4) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標がわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○